



発行日/2018年12月20日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみよい

40

「ごあいさつ」

山口有貴子

気がつけば、今年も残りわずかとなりました。先日の「障害者週間フェスティバル」では、たくさんの方に会場いただき、ありがとうございます。センター関連のイベントは、関係団体のご協力を得て実施した「手話体験・口話ゲーム・絵本の読み聞かせ」と、聴覚機器の体験をしていただけるコーナーを設けました。手話体験に参加されたみなさんには、自己紹介などの手話を覚えていただき、絵本の読み聞かせでは、魅力的な手話語りにも絵本の世界に引き込まれている様子が印象的でした。



手話体験が始まる前に、案内を書いたアンブレボードを手にとってプラザ館内を集客呼び込みに戻っていると、「それ、ええなあ」とアンブレボードに興味を持ってくださった方もいて、「災害の時に便利に使えるんですよ」とPRもしました。

今年も例年になく、大阪でも地震、台風と災害の多い年でした。まだ屋根にブルーシートをかけたままのお宅も見受けられます。災害対策にはしっかりと取り組みつつ、「来年は、平穩に過ごせますように」と祈りたいです。

センターは、12月29日(土)から1月3日(木)まで休館です。利用者の方、休館中

に「急な体調不良で病院に行きたい」という時は、近くの聞こえる人をお願いして、「命のカード」に記載している「日・祝・夜間 堺市役所直窓口 072-23312800」に電話してもらってください。周囲の聞こえる方々もご協力をお願いします。末筆になりましたが、みなさま、どうぞ良いお年をお迎えください。

難聴者のための「コミュニケーション教室」

今回は3人のご参加でした。12回の教室で、後半は会話のキャッチボールができるようになり、楽しい教室でした。最後はご自身が選んだ歌「ふるさと」、「チューリップの花」、エコーズの「ZOO」の3つの歌の大合唱でした。卒業のときには定番の「アイラブユー(世界共通語)で写真を撮りました。

アイラブユーでパチリ！



障害者週間フェスティバルを開催

12月3日〜9日は障害者週間です。堺市立健康福祉プラザでは毎年、「障害者週間フェスティバル」を開催し、さまざまな障害理解の取り組みをしています。センター

でも、聞こえをサポートする機器の展示のほか、ボランティアの方のご協力を得て手話体験、口話ゲーム、手話での絵本の読み聞かせ会を開催しました。機器展では、テレビや会話が聞き取りやすくなる機器や、音声で文字に変換するアプリをご紹介します。筆談ボードは子どもたちに大人気でした。手話体験や読み聞かせには、毎年、たくさんの方がご参加くださいます。堺市ろうあ者福祉協会・堺手話サークル連絡会、絵本の読み聞かせサークル「くるくる」が、今年も楽しい体験会を開いてくださいました。ご参加・ご協力者みなさん、ありがとうございました。



みみサロンを開催しました



11月は、毎年恒例の「交流企画」として、100人前後の方に楽しんでいただきました。オープンニングの堺聴覚支援学校さんの和太鼓披露では、特に、5台の太鼓を横に並べて、順番に移動しながら打つ「わたり打ち」はインパクトがあり、会場が大研修室だったこともあって太鼓の響きを感じやすく、とても感動しました。



センター事業の難聴者のためのコミュニケーション教室卒業生のグループ「あしべの会」さんからは金子みすずさんの詩を手話で朗読されました。今回は代表おひとりの発表でしたが、メンバーは15人超えます。来年は、多くのメンバーさんに披露いただけることを楽しみにしています♪



手話で絵本の読み聞かせをしているグループ「くるくる」さんは、実話である「耳の聞こえないメジャーリーガー

ウィリアム・ホイ」を読んでくださいました。30ページもある長い絵本をろう者が身体を使って大きく表現してくださいました。今ある野球でよく使われる「アウト」「セーフ」などのサインが誕生したきっかけになったお話です。この本はセンターでも閲覧が可能なので、興味がある方はぜひご覧くださいね♪

ろう者のマック田中さんのマジックは、種あかしもあり、マジックらしくないマジックでいつも盛り上がりがあります。今年も楽しいネタをありがとうございます。また、字幕が付いていない番組の字幕制作をするグループ「さくら」さんより活動報告をいただきました。「さくら」さん制作のDVDは、センターで貸出しています。『利用者さんからの意見が参考になる』とお話でしたので、みなさまも一度ご覧になって、ぜひご意見をお寄せくださいね♪



♪最後は府大の手話サークル「亜飛夢(アトム)」さんからの手話コーラスで締めくくりました。今回は歌での披露になりましたが、演出や表現にも亜飛夢さんならではのこだわりがあり、とても素晴らしい手話コーラスでした。「交流企画」は、「多くの方から力をいただいているからこそ、センター事業が成り立っている」ことを改めて実感する行事です。いつもありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いたします♪

晴らしい手話コーラスでした。



もじサロン
筆談会の部

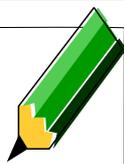
文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。

11月10日(土)
参加者2名
テーマ「秋ならではの楽しみ」
12月13日(木)
参加者4名
テーマ「正月の料理」



次は
1月24日(木)
2月7日(木)

午後2時から4時
2階 研修室にて
事前申込不要です。
毎月開催しています。お気軽にご参加ください。
(担当：芦田・阿部)



保護者学習会を開催しました



11月24日(土)に開催し、5名の保護者にご参加いただきました。講師には聴覚支援学校の教員で、ご自身も聴覚に障害のある佐々木直子さん。「ことばと言

語発達」についてお話しいただきました。

まず、「乳幼児相談」など、聴覚支援学校での取り組みや、長く口話教育がされていたことの紹介がありました。聴覚支援学校では小学部の児童が減少していますが、先生と児童とのやりとりだけでは学べないコミュニケーション力などが、児童集団の中で育っていくという話もありました。また、大きな課題となりやすい日本語の獲得についても、子どもなりに自分の中で法則を作っていること、難しい場面があっても「伝える・共感する」過程を大事にしたいというお話でした。

保護者からは、年齢に合った語彙(ごい)の選択、家庭でできる学習法などの質問が多く出ました。みなさん共通の悩みに対し、丁寧に答えてくださった佐々木先生、ありがとうございました♪

毎回、学習会で新規の参加者が増えており、センターとしても多くの保護者や聞こえない子どもが集える場でありたい！と強く感じています。3月には、聞こえない保護者も子どもたちもそれぞれで交流できる内容を計画しております。またご案内いたしますので、興味がある方はぜひお越しくださいね。

聞こえのセミナーを開催しました



秋のセミナーは、毎年、当事者の体験談をテーマに開催しています。今年度は11月28日(水)、兵庫県難聴者福祉協会副理事長の中嶋一平さんをお招きし、「難聴になつて50年」の体験を語っていただきました。

20代で感音性難聴と診断された中嶋さん。当初は治りたい一心で治療してくれるところを探しました。けれど、難聴は治る病気ではありません。見た目では難聴者とわからず、難聴を隠したい気持ちもあり、友達も離れて孤独になっていきます。そんな時に出会ったのが、当事者の集まり。補聴器で話を聞いたり、筆談で話をするとの案内を見て参加し、仲間に出会います。恋愛、仕事、子育ての悩みを分かち合いながら、全国の難聴者と一緒に活動を始めた中嶋さん。「補聴器を付けているのに聞こえないのか!」と同僚に言われて傷ついたり、研修受講の声がかからなかったり、すべてが解決したわけではありませんでしたが、コツコツと仕事と活動を続けた50年をふりかえり、「良かった」と思えるとおっしゃっていたのが印象的でした。

見た目ではわからない「難聴」。音声での会話はわからなかったり、疲れてしまったり。当事者の集まりでは、そんな気兼ねや気遣いが必要ありません。体験や気持ちを共有することで勇気をもらったり、情報を得たりもできます。秋のセミナー、来年もぜひお越しください。

土師小学校区防災訓練に参加しました



土師小学校区は、自主防災の取り組みを熱心に行われている地域です。センターでは、校区にお住いの聴覚障害の方に訓練日を周知し、今年も2名が参加していただきました。

自治会では写真のようなカードを作ってくれたり、訓練開始の放送が聞こえない方のご自宅に隣組長さんが知らせに行ったりと、地域で支える体制づくりが進んでいます。9時過ぎに町内の集合場所まで安否確認した後、小学校に移動。「自宅から集合場所までは生き残る訓練。小学校での取り組みは生き延びる訓練」とのご挨拶が印象的でした。

炊き出し、ロープの結び方、物干し竿と毛布でできる担架づくりなど、いろいろな体験コーナーがあり、繰り返し体験することで「自助・共助」の力が高まるのではないのでしょうか。

トイレの仮設直結管の下
みんなで組み立てました



ゲーム作成の学生さん
の作るものは?
寒い時に役立つものは?



手話奉仕員・通訳者養成講座

手話を広める取り組み

10月・11月と市民向け講座を開催しました。4区で4回ずつ、計16回で、延べ226人の方に受講いただきました。手話言語コミュニケーション条例の精神に沿って昨年からは開かれています。来年からはさらに規模を大きくして開催する予定です。

要約筆記者養成講座

登録試験に向けて頑張ろう！

6月に開講したパソコン要約筆記者養成講座も、あと数回。チームワーク・ノートテイク等、実技学習が進む中で、受講生同士、和気あいあいと連携が取れるようになってきました。2月の試験に向けて、もう一息頑張りましょう！

センターの行事

1月11日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

1月19日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※事前申込
救急・消防とは

2月 2日(土) 14:00~16:00

「聞こえのセミナー」 ※事前申込
難聴の治療について

2月 8日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

3月 9日(土) 10:00~12:00

「保護者学習会」 ※事前申込
親子交流会

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

ビデオライブラリーのおすすめ

「動物の赤ちゃん大集合！

～涙と笑いの密着1000時間～

日本全国の動物園で生まれた動物の赤ちゃんたちをご紹介。いろんな事情で動物の母親に代わって赤ちゃんを育てている飼育員さんたちの奮闘ぶりや、珍しいイルカの出産シーンや、豆柴の子犬を飼い始めた埼玉県の一家庭のてんやわんやの様子も紹介しています。

「探検バクモン 見えない聞こえない でもね…」

爆笑問題がやってきたのは筑波技術大学。ここは日本で唯一、聴覚や視覚に障害がある人だけが通う大学です。障害があっても社会でリーダーになれるような人材を育成するため30年前に設立されました。聴覚障害者のキャンパスでは、聴覚障害者のために工夫された構造の校舎や、さまざまな情報保障を駆使した授業の様子を探ります。

頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

登録者合同研修会 10/27 「医学の基礎知識Ⅲ」

手話通訳者研修 11/20 「ピア・グループスーパービジョン」

手引き研修(合同) 12/1 「盲ろう者への支援について」

要約筆記者研修 12/15 「事例検討」

手話通訳者受講次研修(Aランク) 1/12

登録者合同研修会 1/26 「頸肩腕症候群予防」

要約筆記者実技研修(手書) 2/9 「難聴者目線と要約筆記」

手引き研修 2/15 「盲ろう者支援事業所の見学」



12/29~1/3 休館
今年も大変お世話になりました。
来年もどうぞよろしく
お願いいたします。
良いお年を
お迎えください。



事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
10月	派遣数	244件	31件	16件	17件	24人	49本
	派遣人数	238人	71人	31人	49人	新規登録者：2人	
11月	派遣数	213件	30件	13件	26件	18人	42本
	派遣人数	223人	74人	26人	72人	新規登録者：2人	

ご協力
ありがとうございました

